

「動物愛護及び管理に関するアンケート調査」調査結果

「山梨県動物愛護管理推進計画」の見直しにあたり、県民の皆様のペットの飼育状況や飼育に関する意識などを把握し、より一層充実した動物愛護及び管理に関する施策を実施していくため、県政モニターによるアンケート調査を実施しました。

1 アンケート調査の実施時期

平成 29 年 11 月

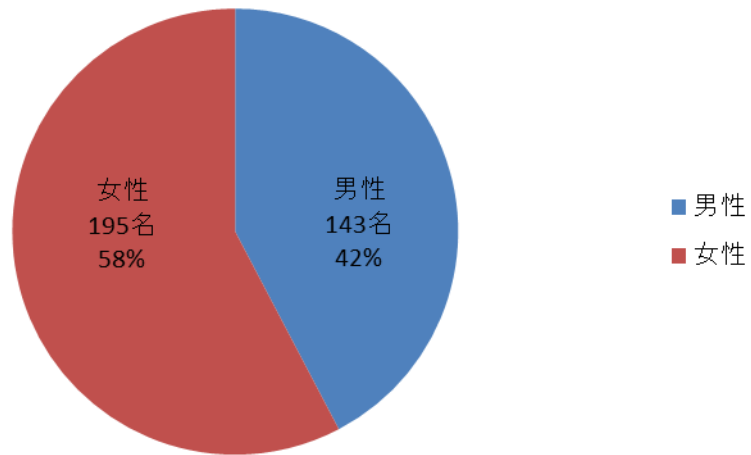
2 県政モニター数

(1)一般モニター(郵送によるアンケート調査)	322 名
(2)インターネットモニター(電子メールによるアンケート調査)	77 名
合計	399 名

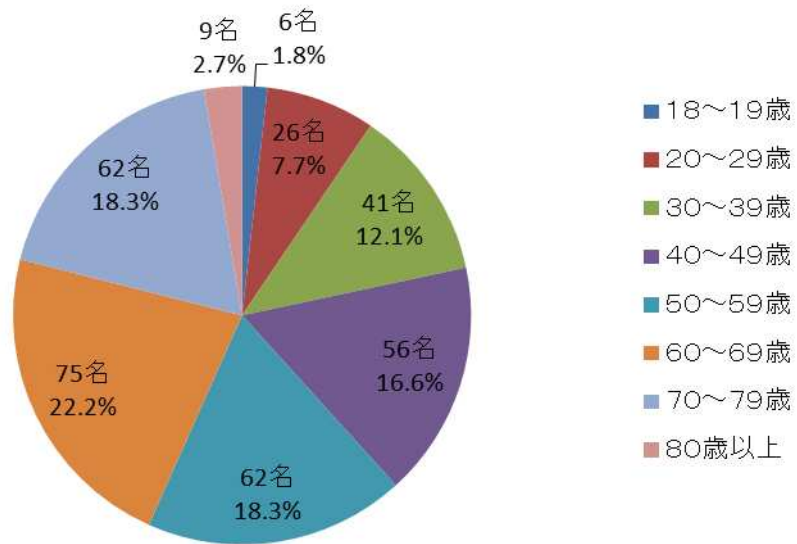
3 回答数

	(回答率)
(1) 一般モニター(郵送によるアンケート調査)	277 名(86.02%)
(2)インターネットモニター(電子メールによるアンケート調査)	61 名(79.22%)
合計	338 名(84.71%)

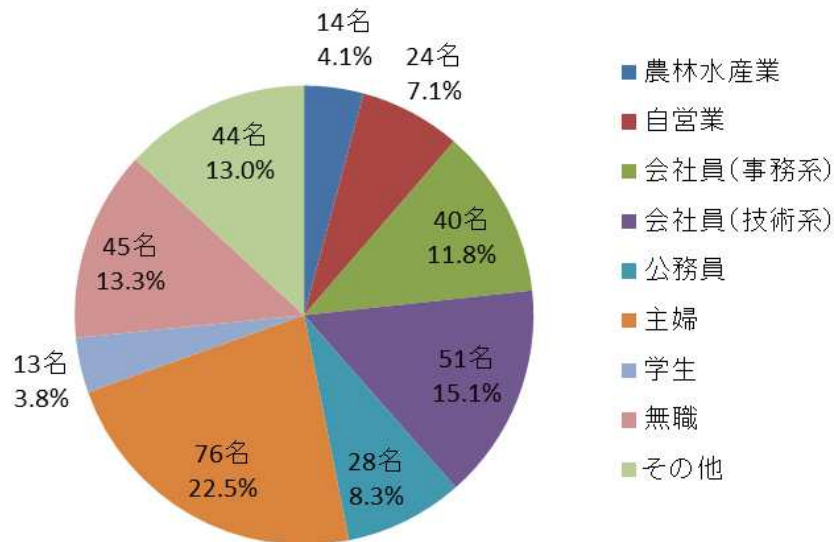
【性別】



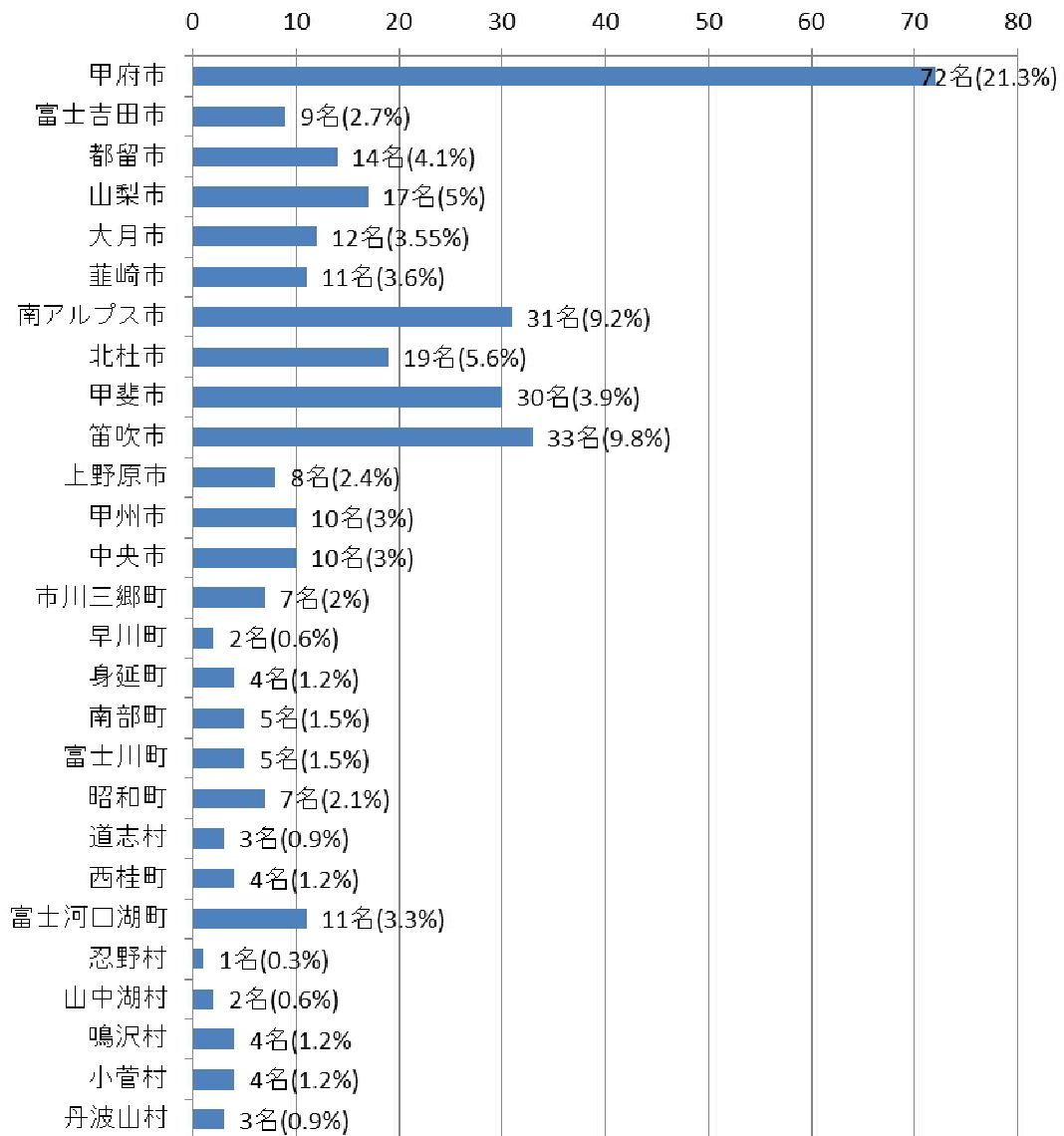
【年齢】



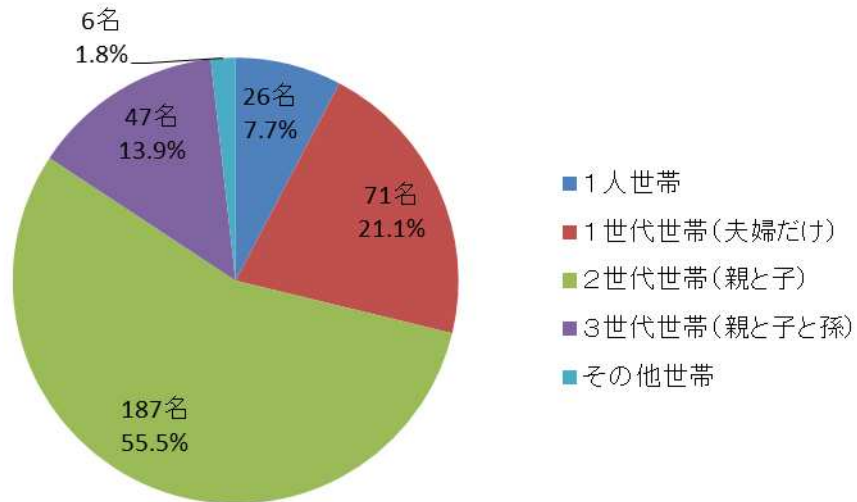
【職業】



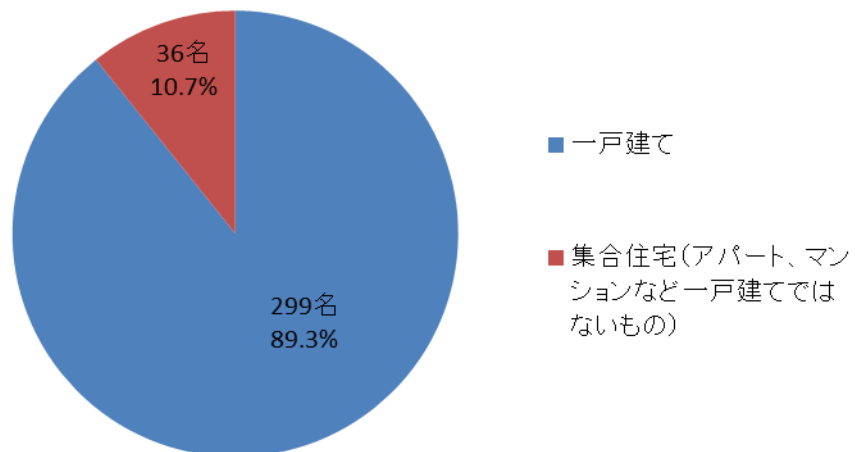
【住んでいる地域】



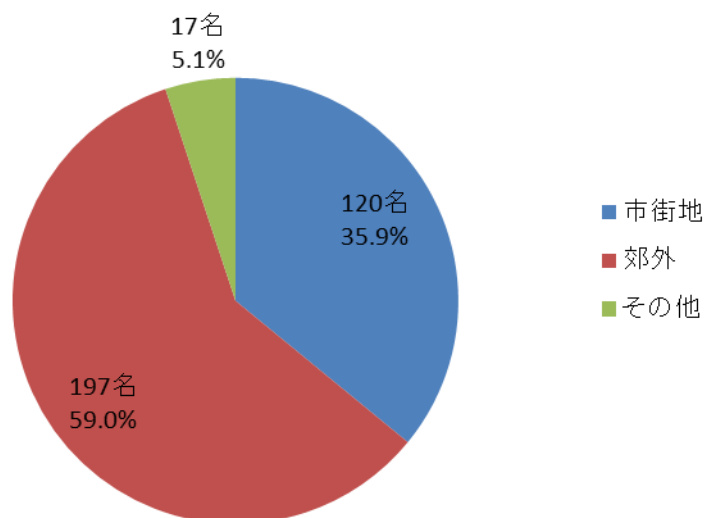
【世帯構成】



【住宅の形態】



【住まいの周辺環境】

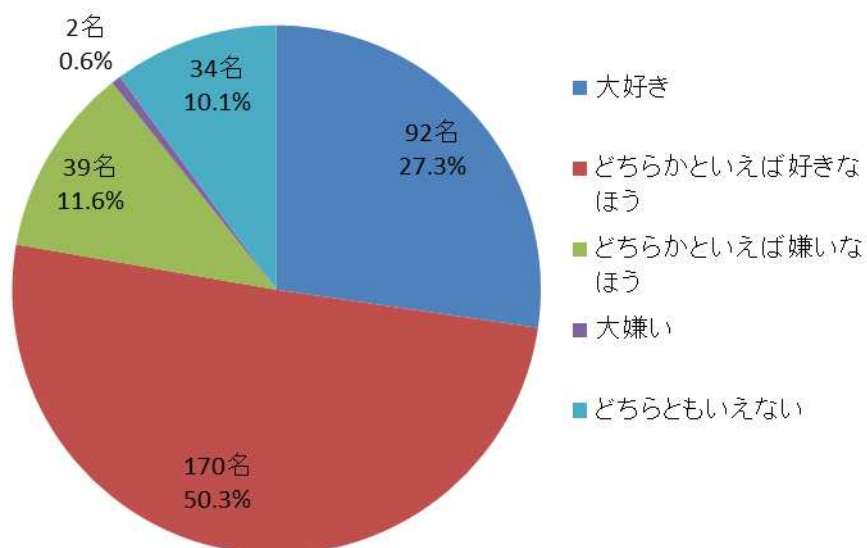


問1 あなたは動物が好きですか。(n = 338)

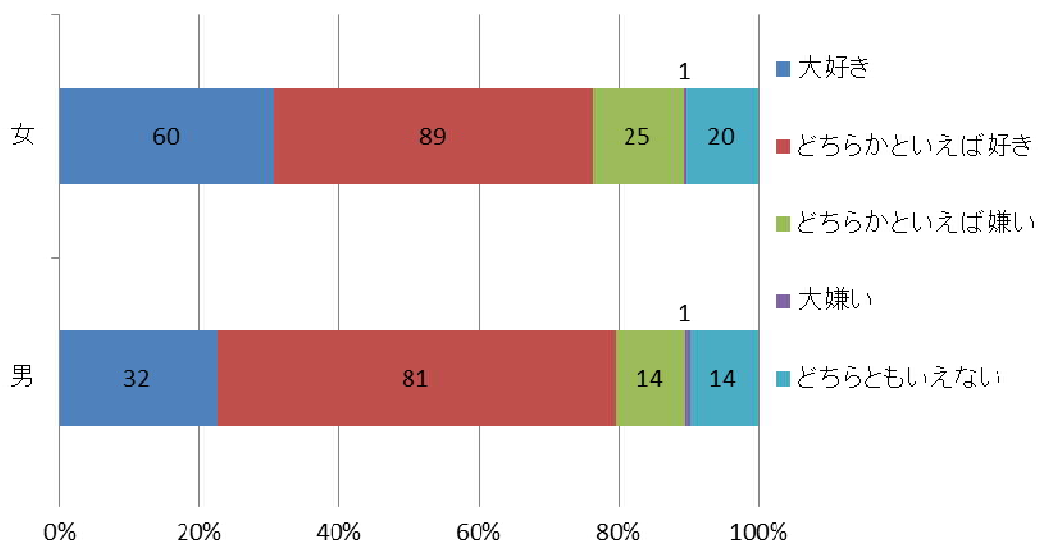
【調査結果】

- ・ 「好き」とする人の割合が 262 名(77.52%) [「大好き」+「どちらかといえば好きなほう」]、「嫌い」な人の割合が 41 名(12.13%) [「大嫌い」+「どちらかといえば嫌いなほう」]であった。
- ・ 性別でみると女性より男性の方が「好き」とする人の割合がやや高くなっている。
- ・ 年齢別でみると、「好き」とする人の割合は 18～19 歳、30～39 歳及び 50～59 歳が高く、「嫌い」とする人の割合は、80 歳以上で高くなっている。

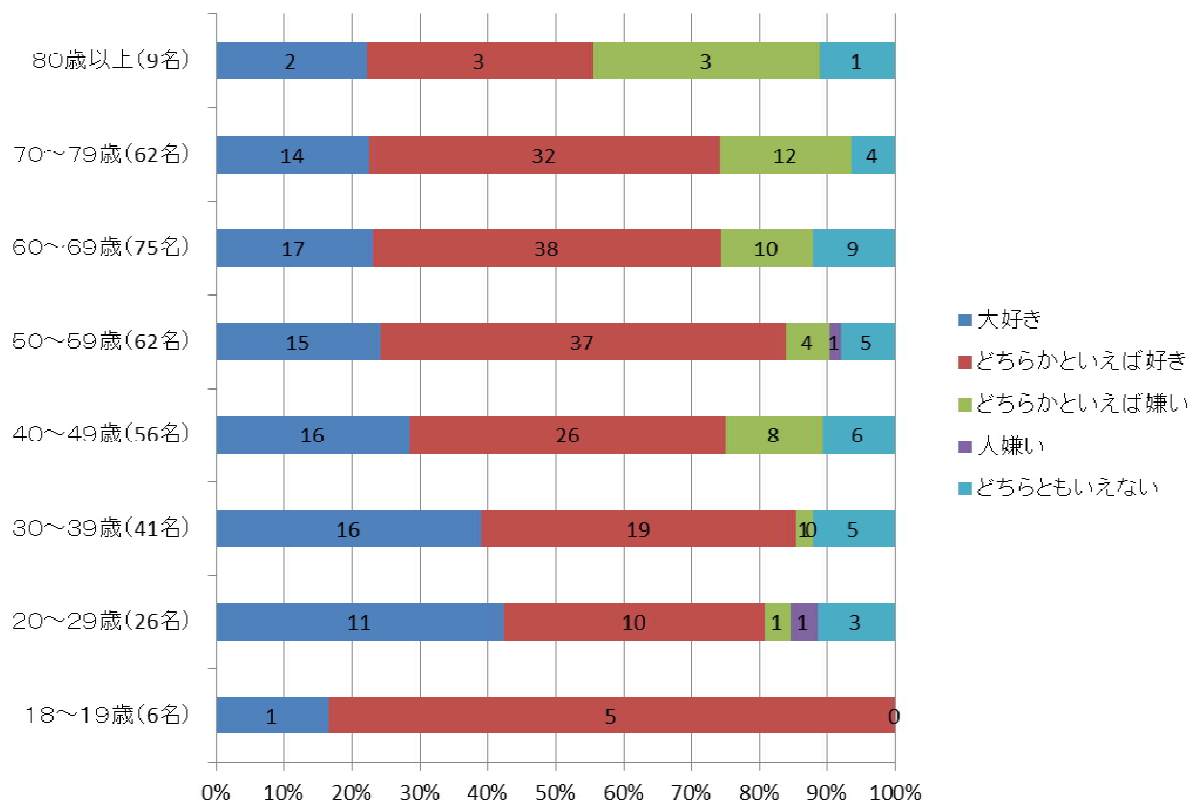
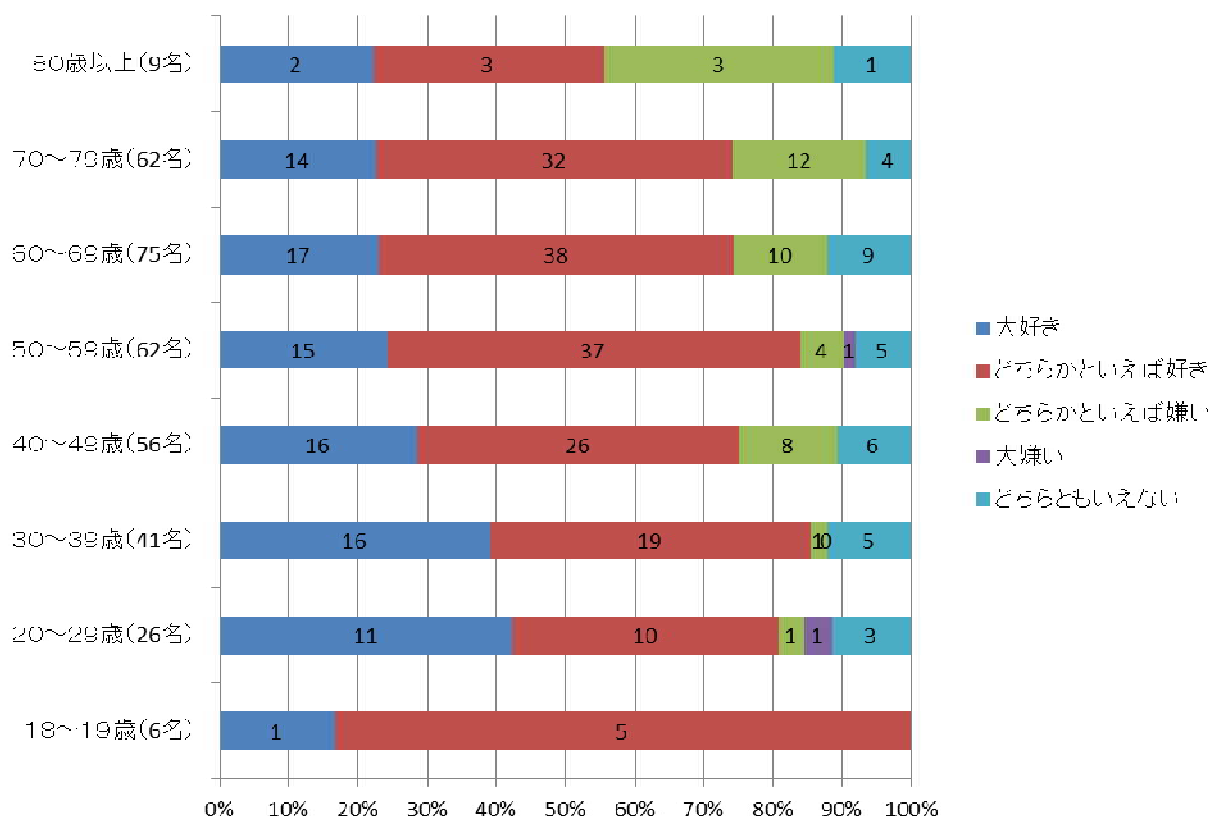
【全体】



【性別クロス分析】



【年齢別クロス分析】

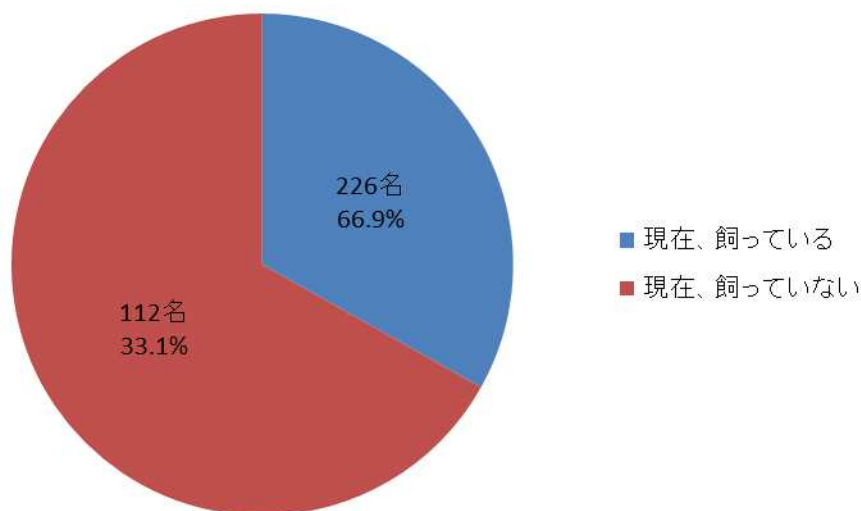


問2 あなたはペットを飼っていますか。(n = 338)

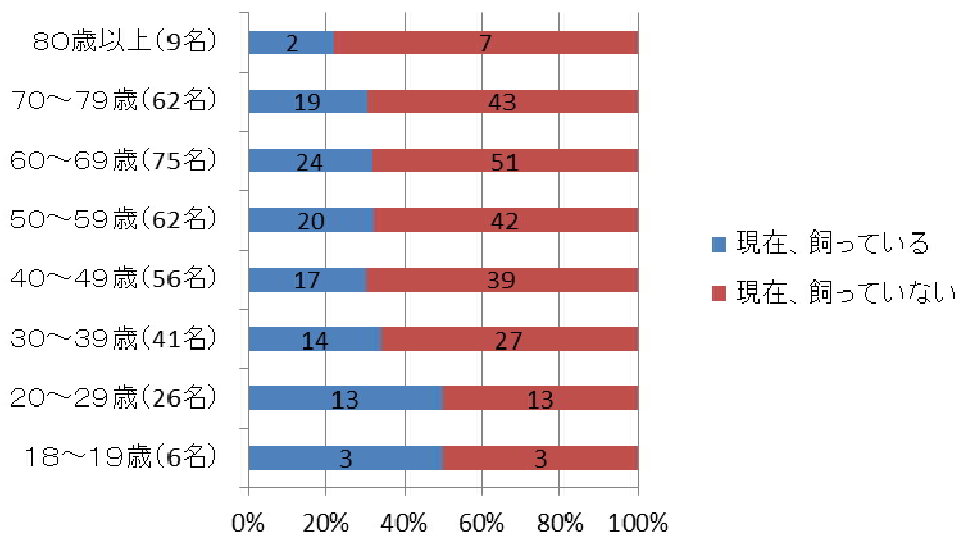
【調査結果】

- ・ 「飼っている」人の割合が112名(33.14%)、「飼っていない」人の割合が226名(66.86%)であった。
- ・ 年齢別でみると、「飼っている」人の割合は20～29歳で50.00%(13名)、と高く、80歳以上は22.22%(2名)と低くなっている。
- ・ 世帯構成別でみると、「飼っている」人の割合は2世代世帯が39.04%(73名)、3世代世帯が38.30%(18名)で1人世帯(15.38%、4名)、1世代世帯(16.90%、12名)より高くなっている。
- ・ 住宅形態別でみると、「飼っている」人の割合は集合住宅より一戸建てで高くなっている。

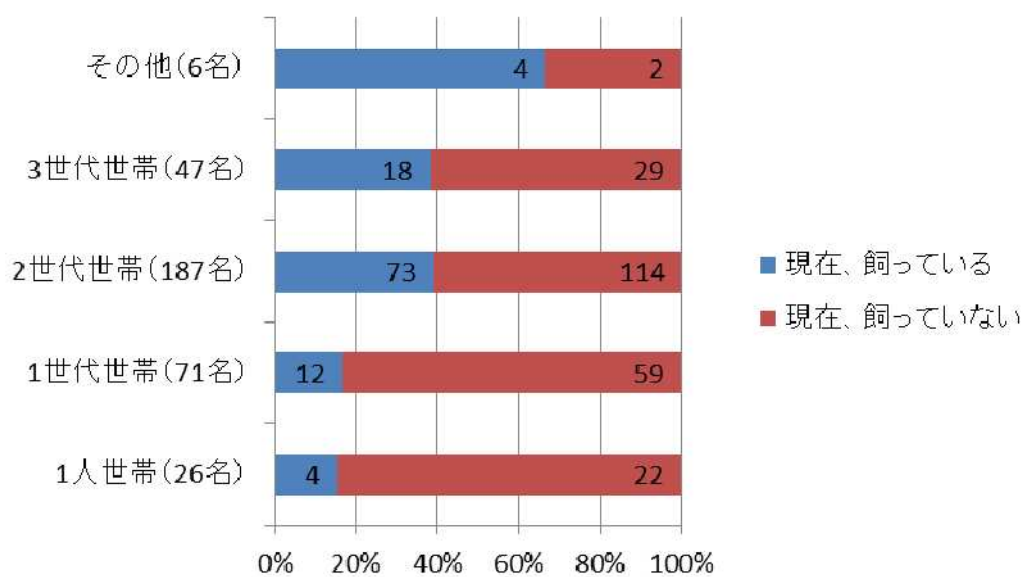
【全体】



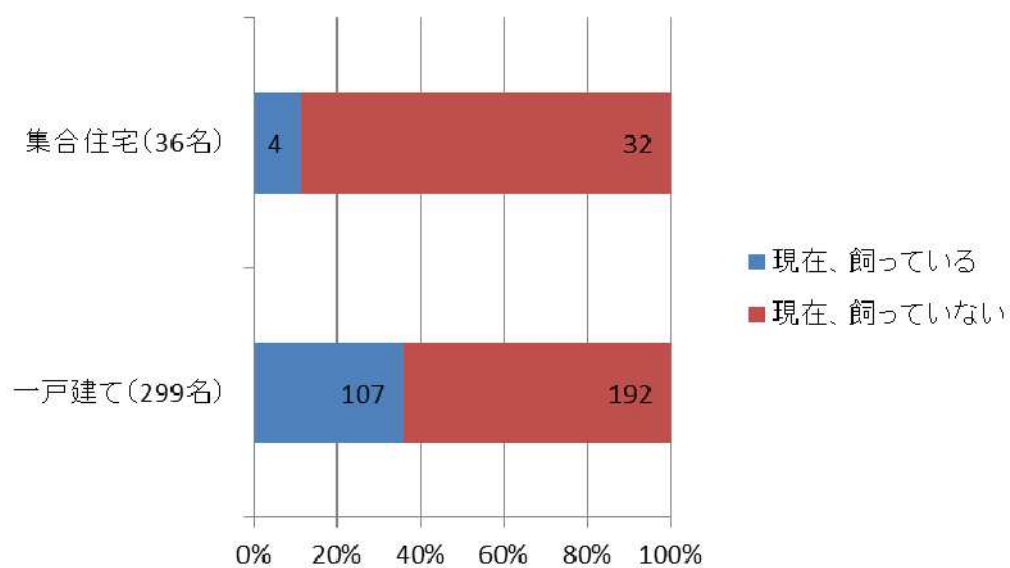
【年齢別クロス集計】



【世帯構成別】



【住宅形態別】



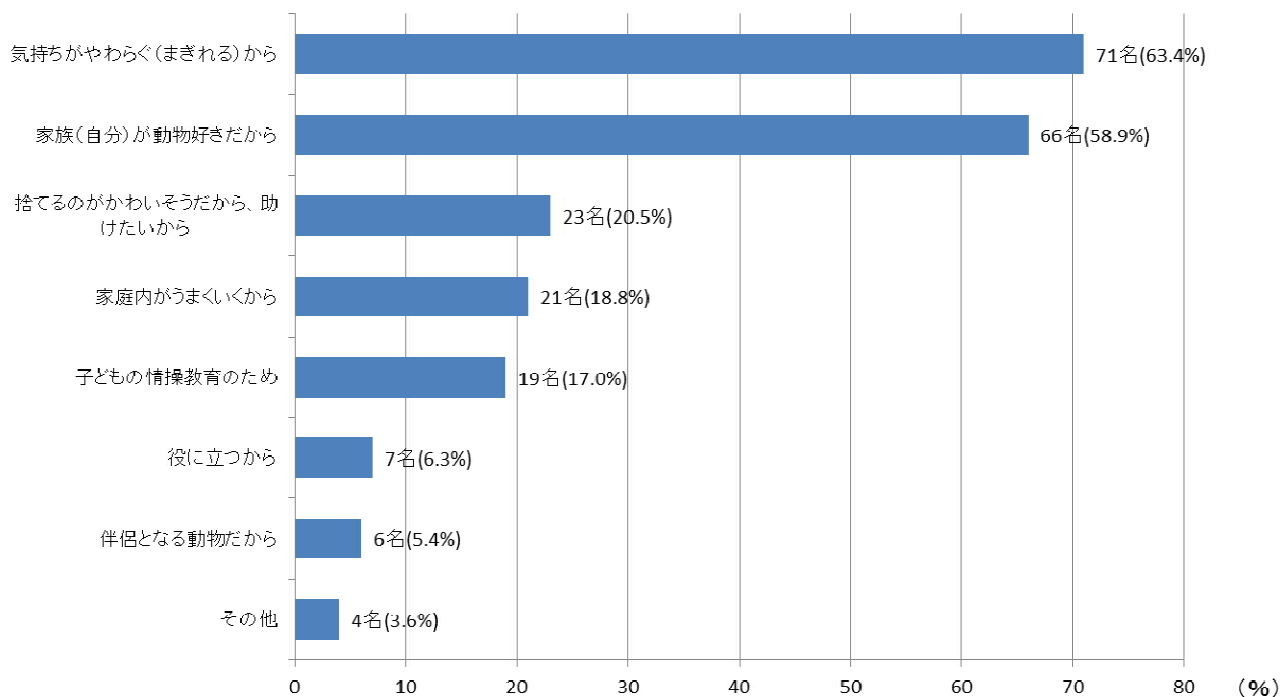
ペットを飼われている方にお聞きします。

問3 あなたがペットを飼う理由はなんですか。

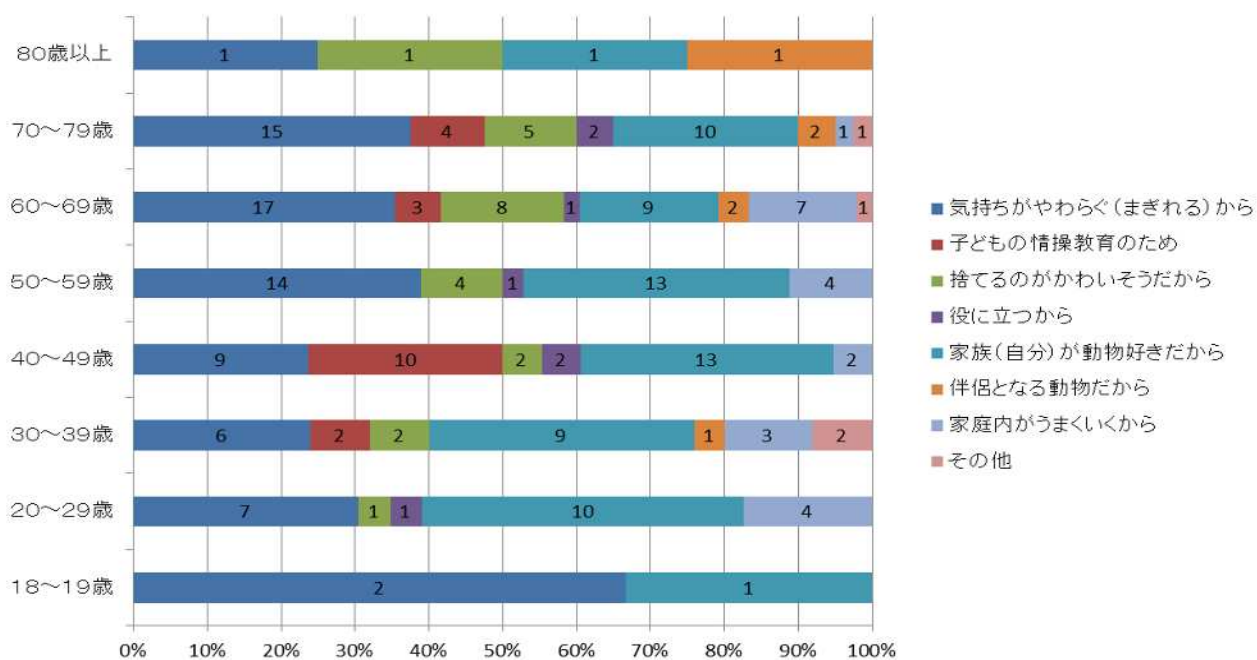
【調査結果】

- ・ ペットを飼っている理由は「気持ちがやわらく(まぎれる)から」が71名(63.4%)、「家族(自分)が動物好きだから」66名(58.9%)が高くなっている。
- ・ 年齢別でみると、各年代で「気持ちがやわらく(まぎれる)から」、「家族(自分)が動物好きだから」が高く、また、「子どもの情操教育のため」は40～49歳で高くなっている。

【全体】



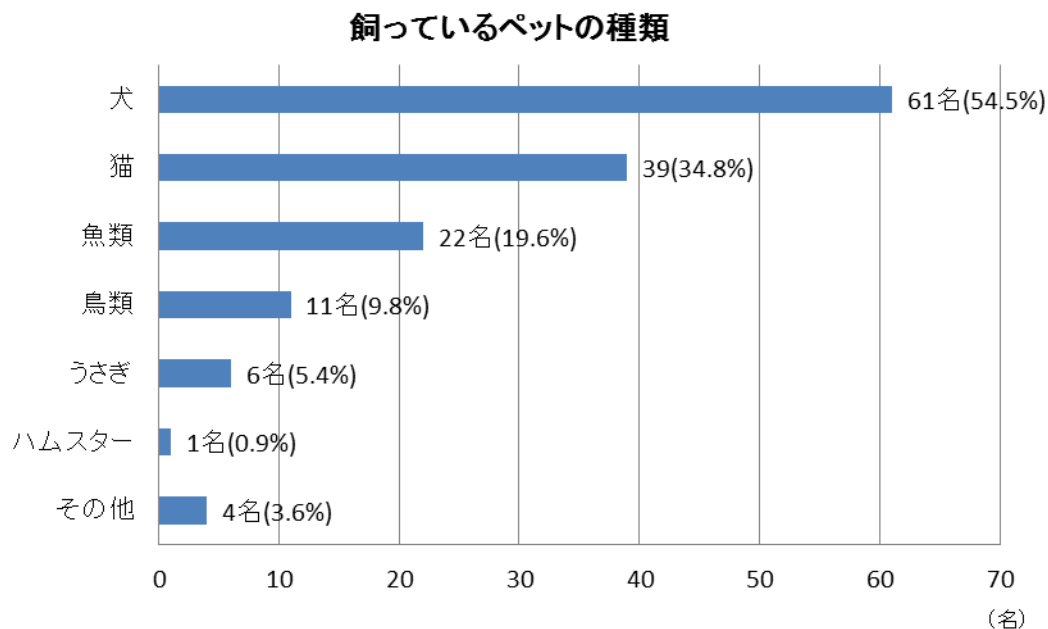
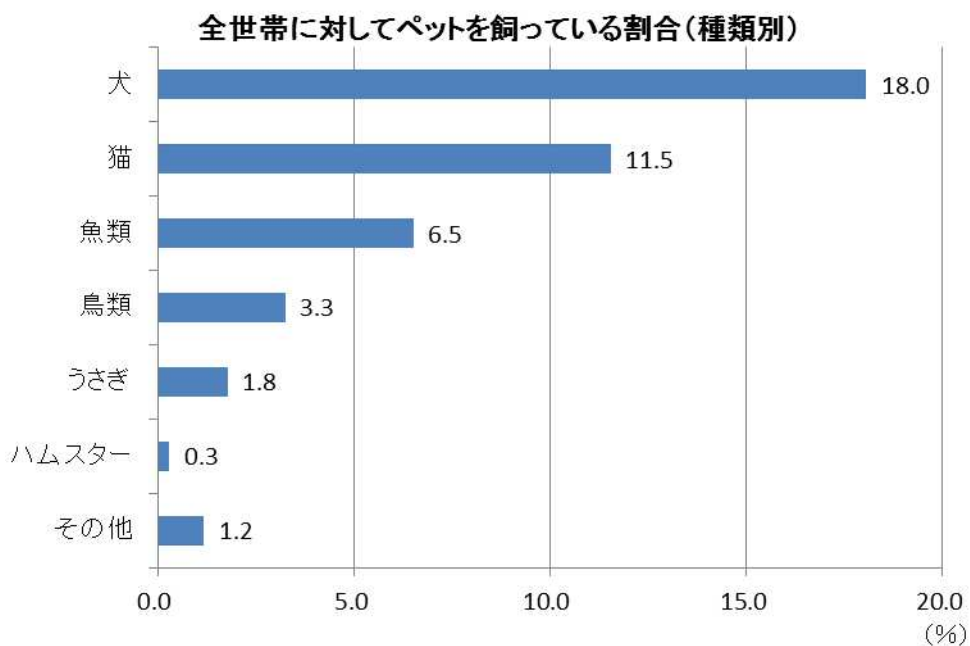
【年齢別クロス集計】



問4 飼っているペットの種類はなんですか。

【調査結果】

- ・ 飼っているペットの種類は「犬」が 61 名 (54.46%) と最も高く、「猫」が 39 名 (34.82%)、「魚類」が 22 名 (19.64%) の順となっている。
- ・ 全世帯に対し、ペットを飼っている人の割合は、「犬」が 18.05% (61 世帯)、「猫」が 11.54% (39 世帯) 及び「魚類」が 6.51% (22 世帯) の順となっている。

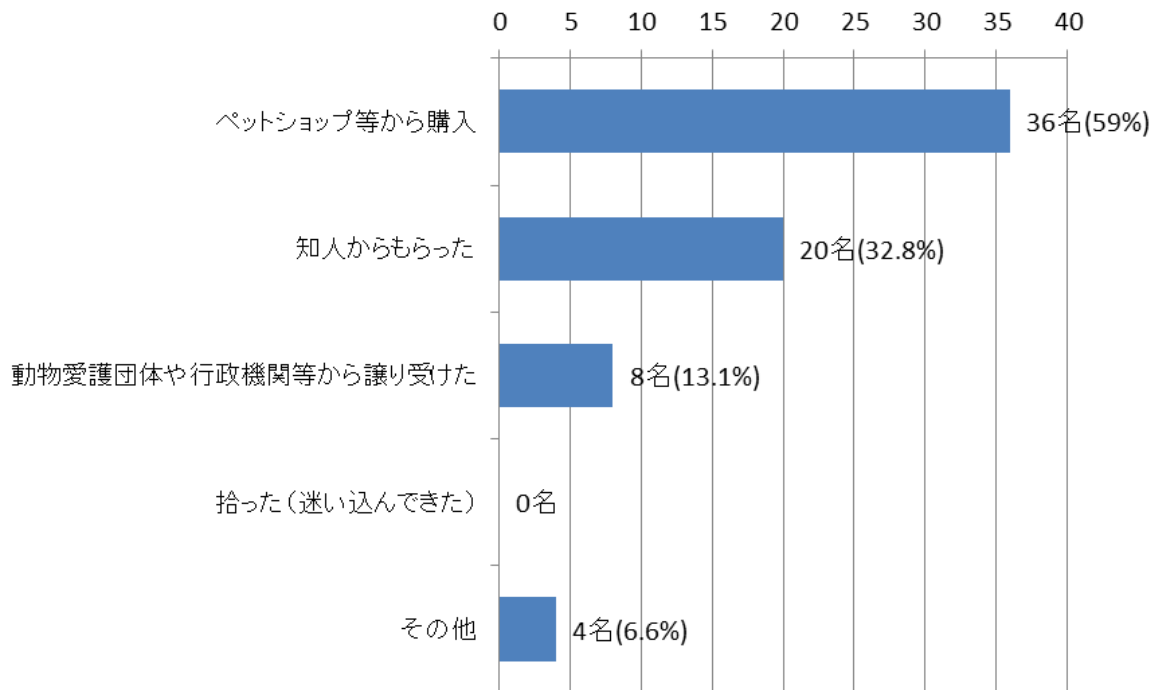


犬を飼われている方にお聞きします。

問5 どのようにして犬を入手しましたか。(n=62)

【調査結果】

- ・ 「ペットショップ等から購入」が36名(59.02%)と最も高く、次に「知人からもらった」が20名(32.79%)、「動物愛護団体や行政機関等から譲り受けた」が8名(13.11%)の順となっている。

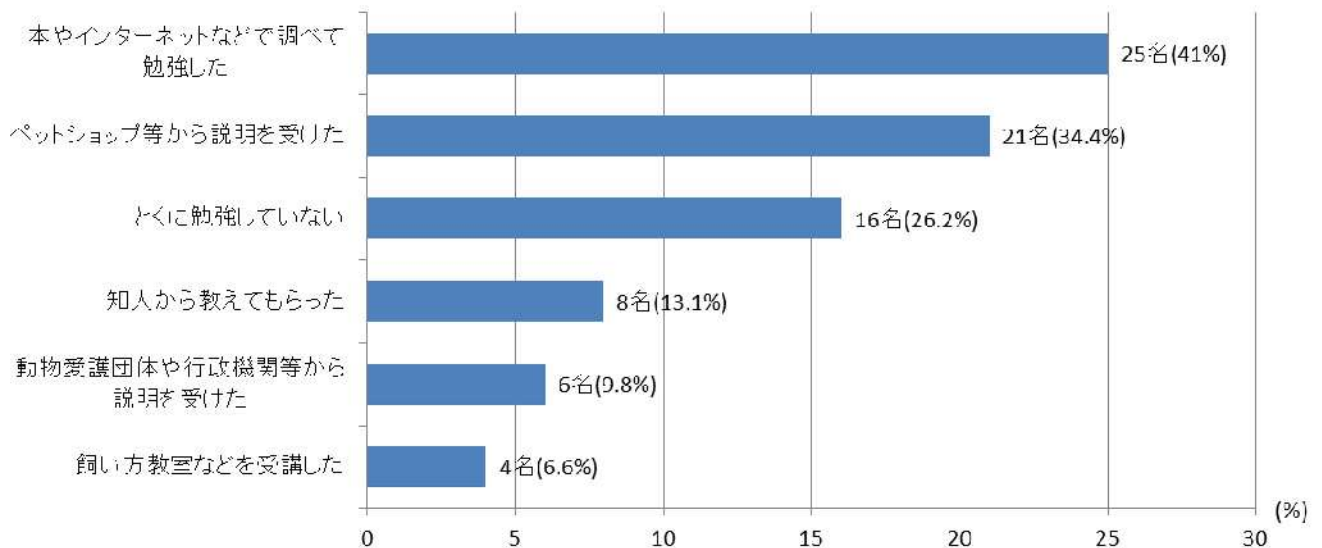


問6 犬を飼う前に、犬の特徴や性質、飼い方しつけ方などをどのように知りましたか。

【調査結果】

・「とくに勉強していない」人は 16 名(26.23%)であった。勉強している人では「本やインターネットなどで調べて勉強した」25名(40.98%)、「ペットショップ等から説明を受けた」21名(34.43%)、「知人から教えてもらった」8名(13.11%)の順が多かった。

【全体】

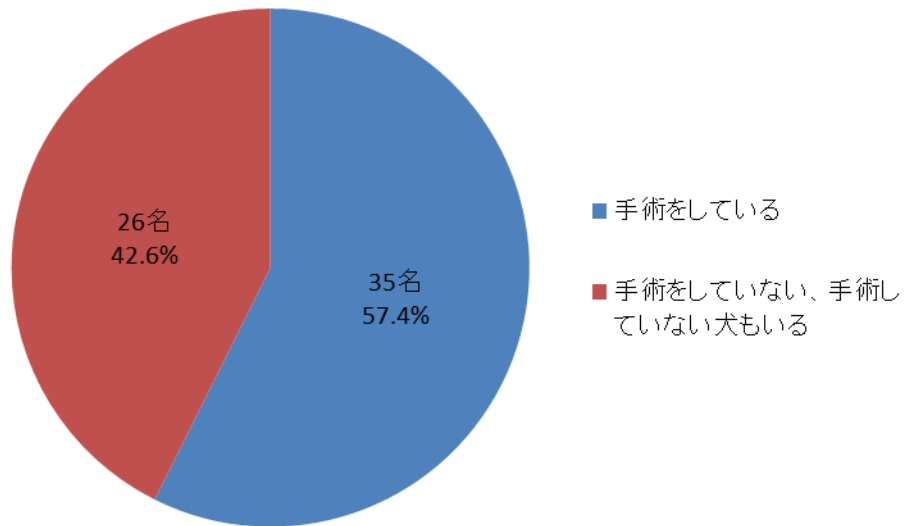


問7 飼い犬に、不妊・去勢手術をしていますか。

【調査結果】

・「手術をしている」が 35 名 (57.4%)、「手術をしていない、手術していない犬もいる」が 26 名 (42.6%) であった。

【全体】

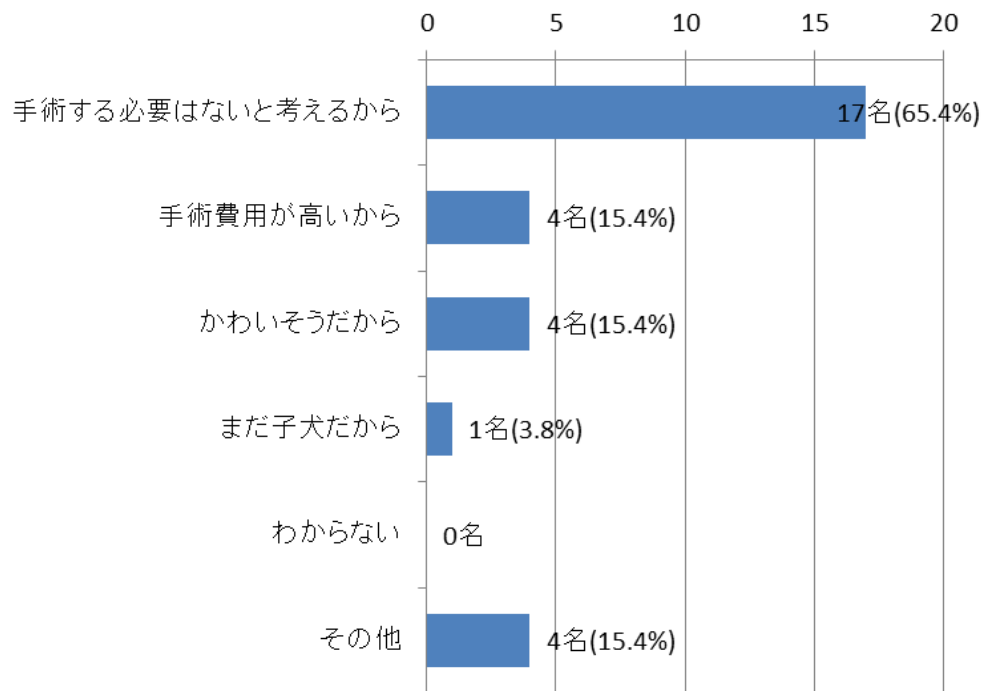


問8 問7で「イ 手術していない、手術していない犬もいる」を選択された方にお聞きします。手術をしていない理由はなんですか。

【調査結果】

・「手術する必要はないと考えるから」17名(65.4%)が最も高く、「かわいそうだから」4名(15.4%)、「手術費用が高いから」4名(15.4%)、「その他」4名(15.4%)となっている。

【全体】



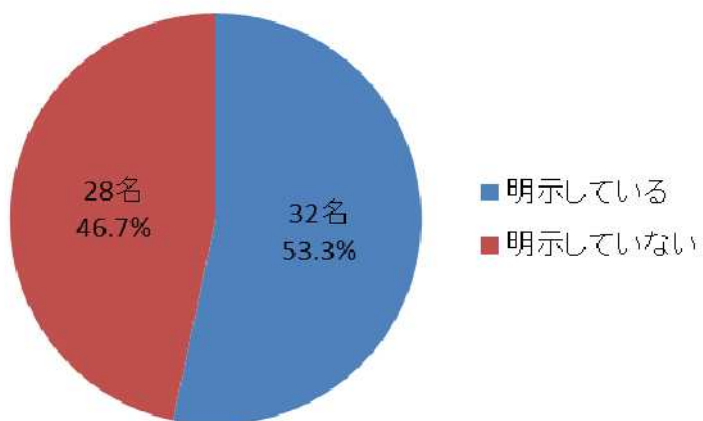
問9 飼い犬に、飼い主が誰であるかわかるよう所有者の明示をしていますか。

【調査結果】

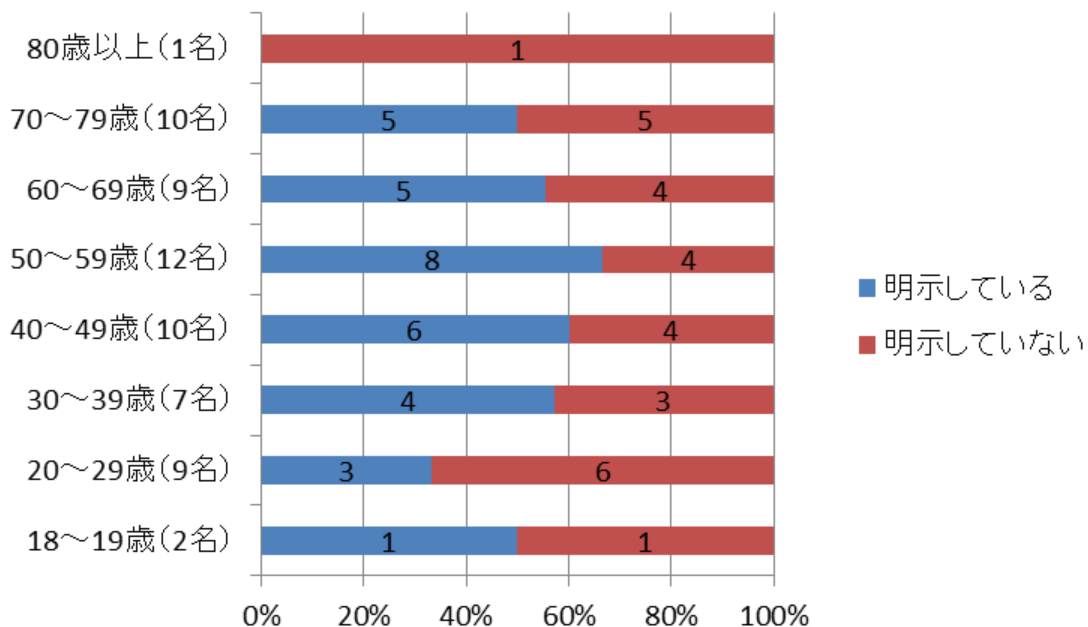
・32名(53.3%)が所有者の明示をしている。

・年齢別でみると、「明示している」人の割合は50歳～59歳で高く、「明示していない」人の割合は20～29歳で高くなっている。

【全体】



【年代別クロス分析】

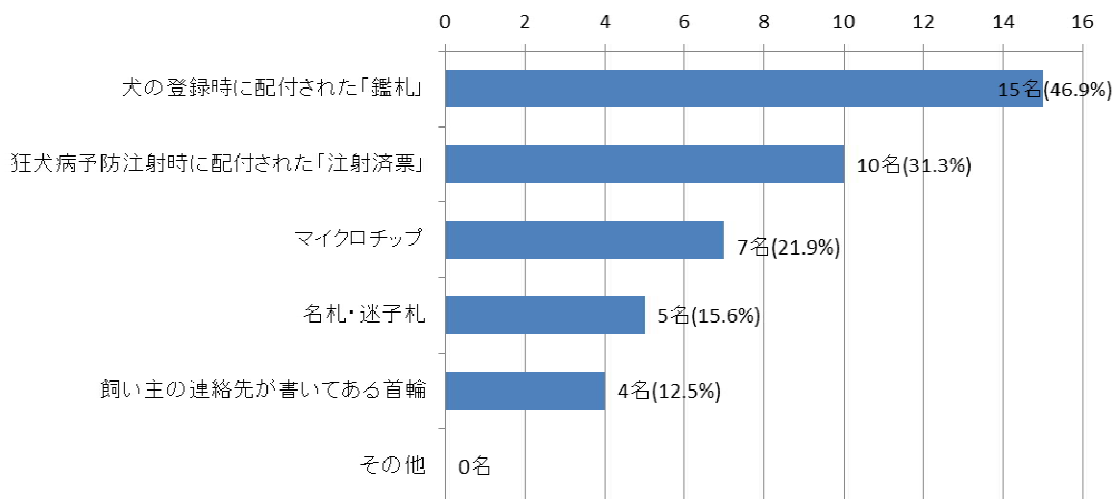


問10 問9で「ア 明示している」を選択された方にお聞きします。
どのような方法で明示していますか。

【調査結果】

・「犬の登録時に配付された『鑑札』」、「狂犬病予防注射時に配付された『注射済票』」、「マイクロチップ」の順が多かった。

【全体】

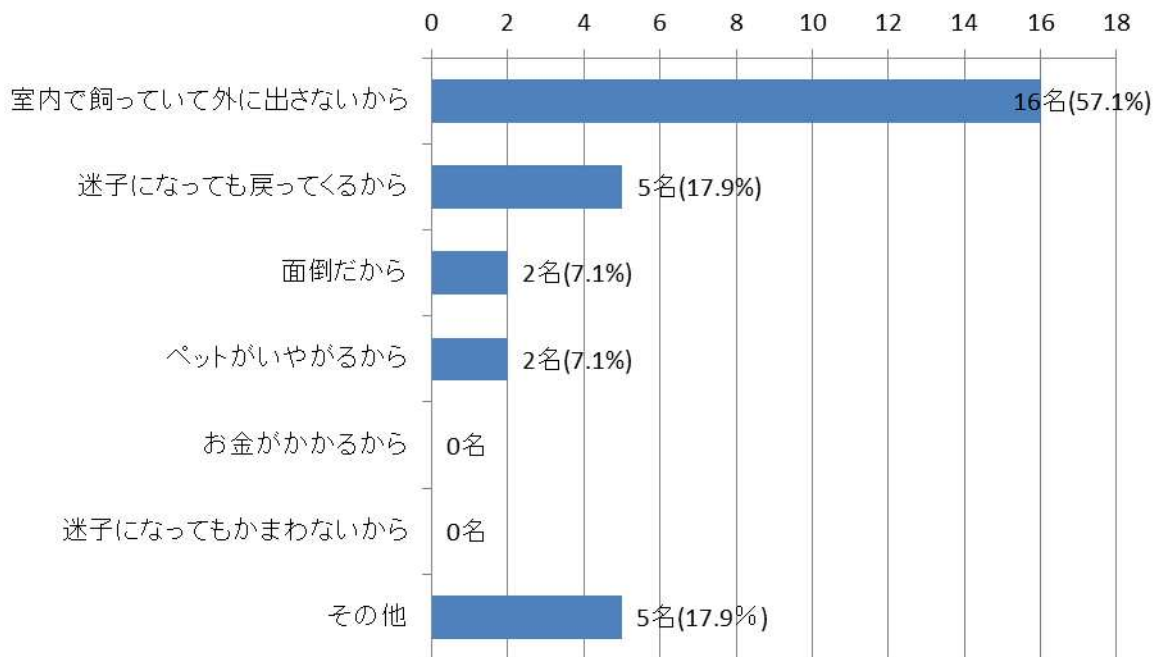


問11 問9で「イ 明示していない」を選択された方にお聞きします。明示していない理由はなんですか。(n=31)

【調査結果】

・「室内で飼っていて外に出さないから」の割合が最も高く、16名(57.1%)であった。続いて、「迷子になっても戻ってくるから」5名(17.9%)と続いた。

【全体】

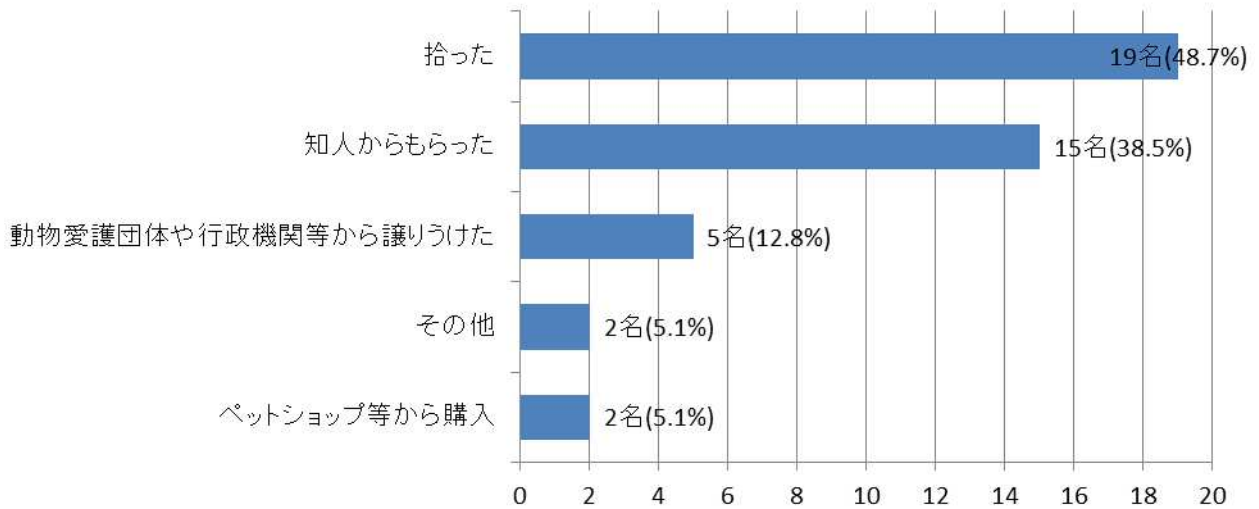


問12 どのようにして猫を入手しましたか。

【調査結果】

・「拾った」が19名(48.7%)と最も多く、「知人からもらった」が15名(38.5%)、「動物愛護団体や行政機関等から譲りうけた」が5名(12.8%)と続いた。

【全体】

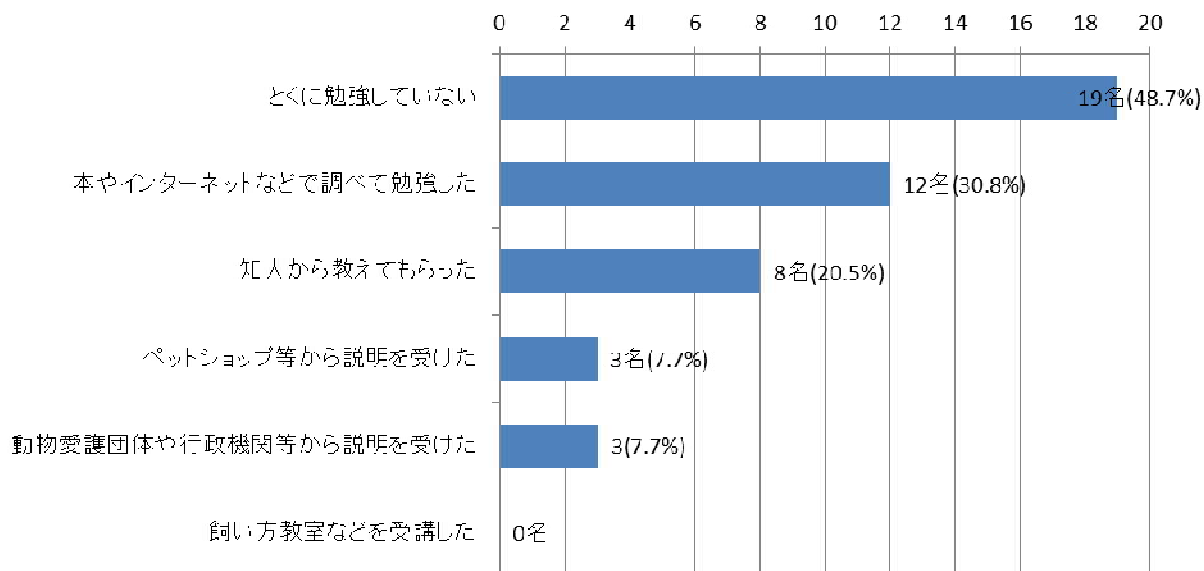


問13 猫を飼う前に、猫の特徴、性質や飼育方法をどのように知りましたか。

【調査結果】

・「とくに勉強していない」が19名(48.7%)と最も高く、「本やインターネットなどで調べて勉強した」が12名(30.8%)、「知人から教えてもらった」が8名(20.5%)と続いた。

【全体】

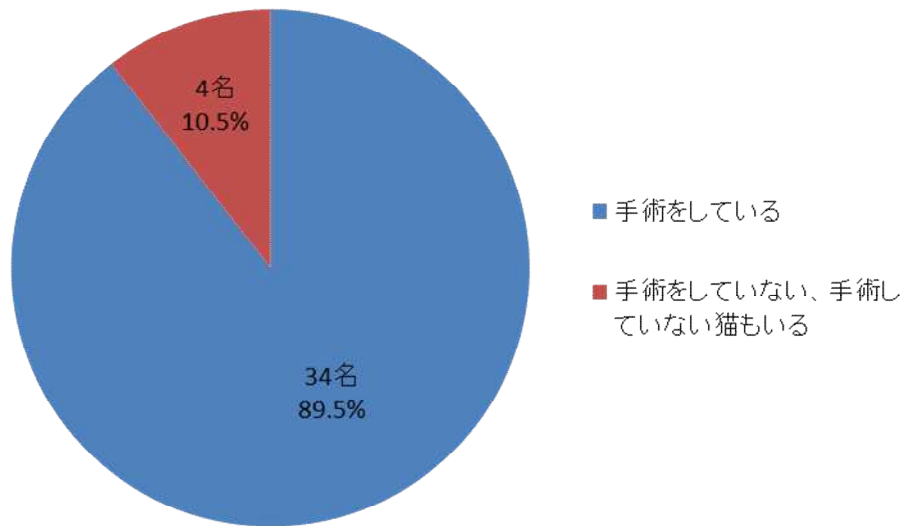


問14 飼い猫に、不妊・去勢手術をしていますか。

【調査結果】

・「手術をしている」が 34 名 (89.5%) であり、「手術をしていない、手術をしていない猫もいる」が 4 名 (10.5%) であった。

【全体】

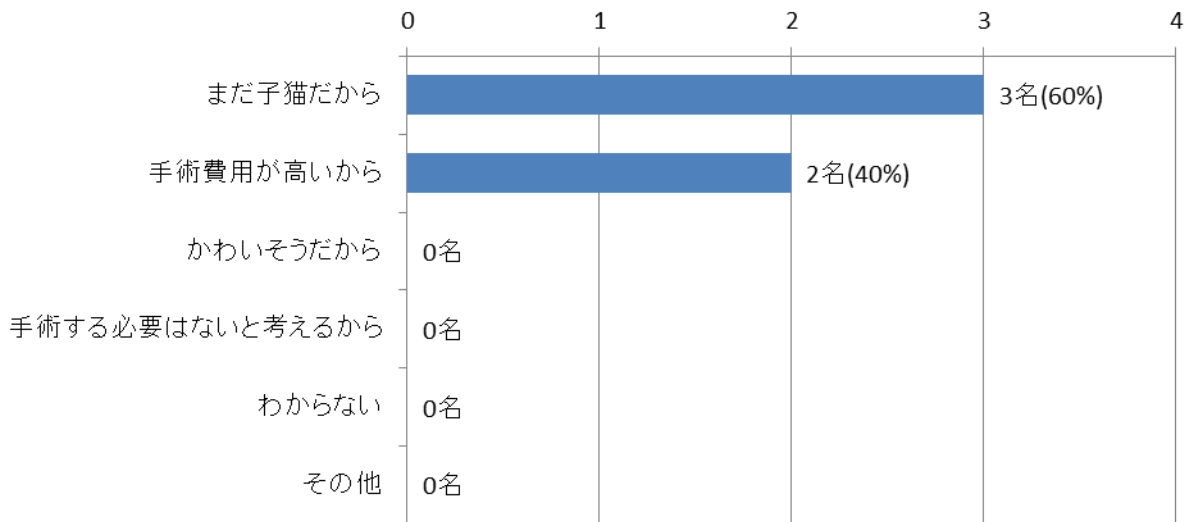


問15 問14で「イ 手術をしていない、手術をしていない猫もいる」を選択された方にお聞きします。手術をしていない理由はなんですか。

【調査結果】

・「まだ子猫だから」が3名(60%)であり、「手術費用が高いから」が2名(40%)であった。

【全体】

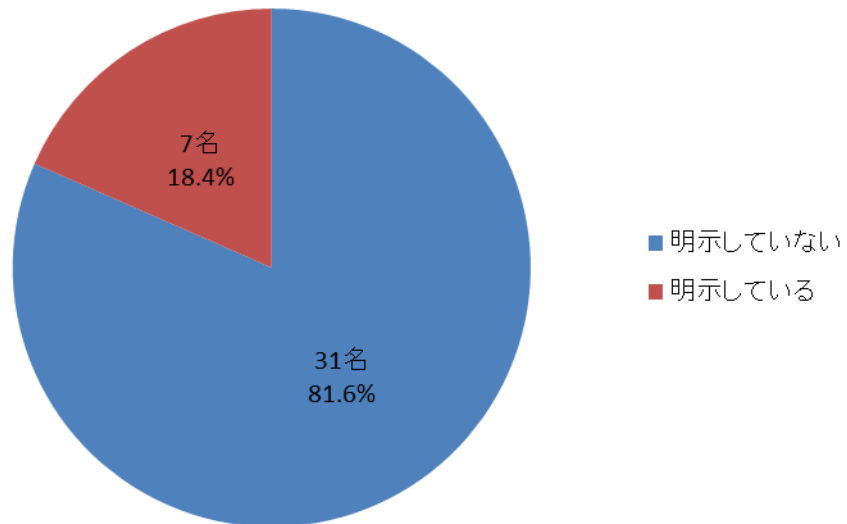


問16 飼い猫に、飼い主が誰であるかわかるよう所有者の明示をしていますか。

【調査結果】

・「明示している」7名(18.4%)に対し、「明示していない」は31名(81.6%)であった。

【全体】

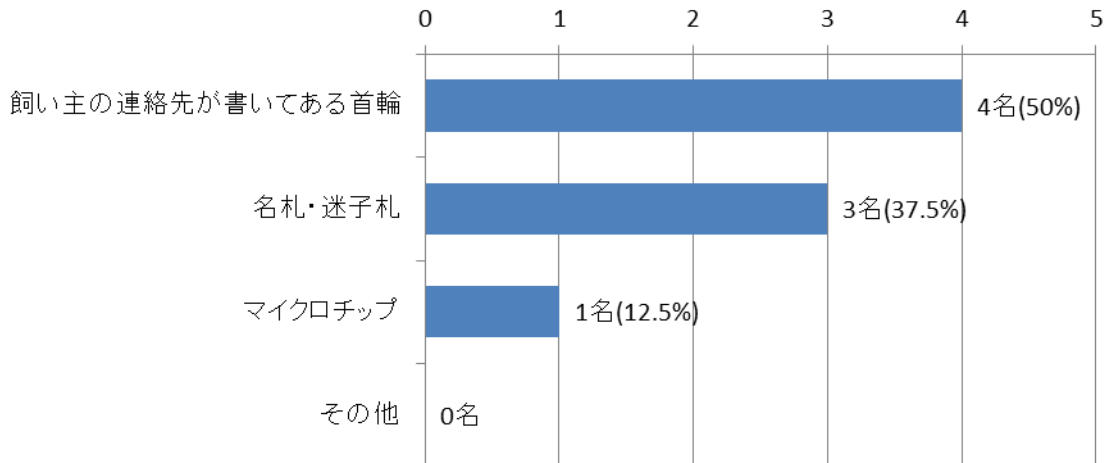


問17 問16で「ア 明示している」を選択された方にお聞きします。どのような方法で明示していますか。

【調査結果】

・「飼い主の連絡先が書いてある首輪」が4名(50%)、「名札・迷子札」が3名(37.5%)、「マイクロチップ」が1名(12.5%)の順であった。

【全体】

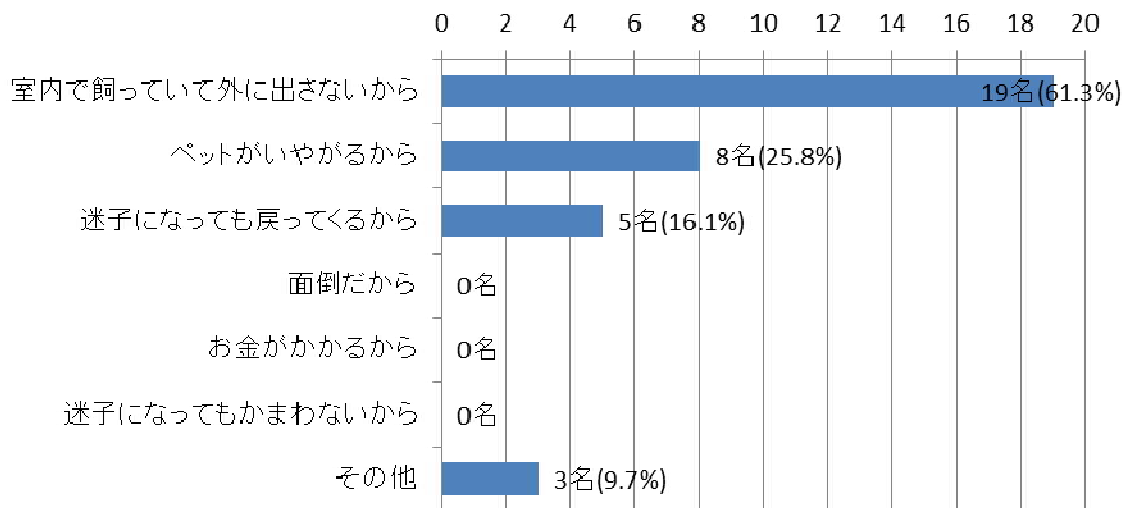


問18 問16「イ 明示していない」を選択された方にお聞きします。明示していない理由はなんですか。

【調査結果】

・「室内で飼っていて外に出さないから」が19名(61.3%)と最も高く、「ペットがいやがるから」が8名(25.8%)、「迷子になっても戻ってくるから」が5名(16.1%)の順であった。

【全体】



問19 あなたは猫をどのように飼っていますか。

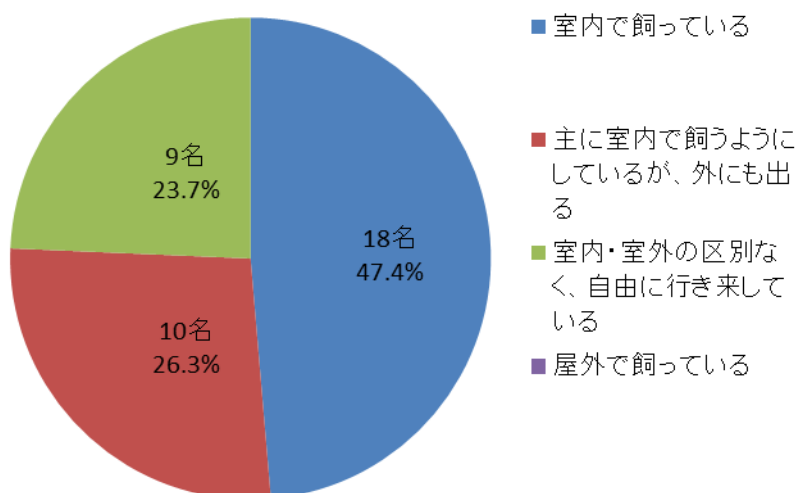
【調査結果】

・「室内で飼っている」が18名(47.4%)、「主に室内で飼うようにしているが、外にも出る」が10名(26.3%)、「室内・室外の区別なく、自由に行き来している」が9名(23.7%)の順であった。

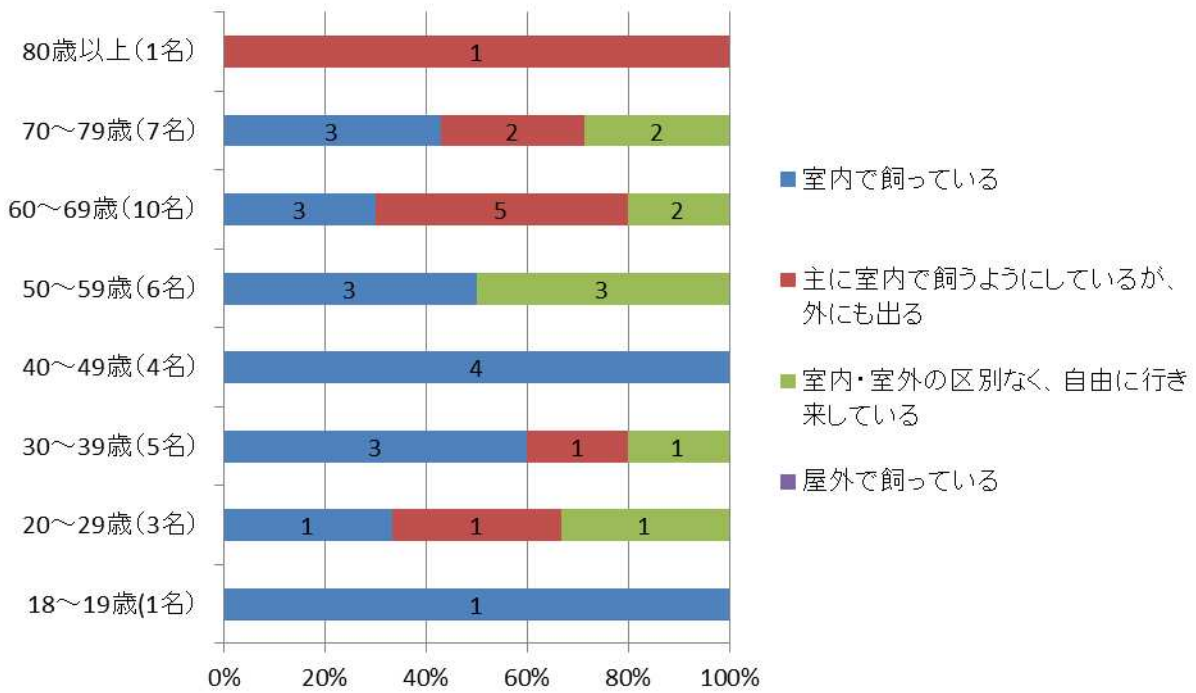
・年齢別でみると、18～19歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳において「室内で飼っている」が半数以上を占めており、40～49歳においては、4名(100%)であった。

・周辺環境別でみると、市街地では、「室内で飼っている」が9名(90%)、「室内・室外の区別なく、自由に行き来している」が1名(10%)である一方で、郊外では、「室内で飼っている」が9名(37.5%)、「主に室内で飼うようにしているが、外にも出る」が8名(33.3%)、「室内・室外の区別なく、自由に行き来している」が7名(29.2%)であった。

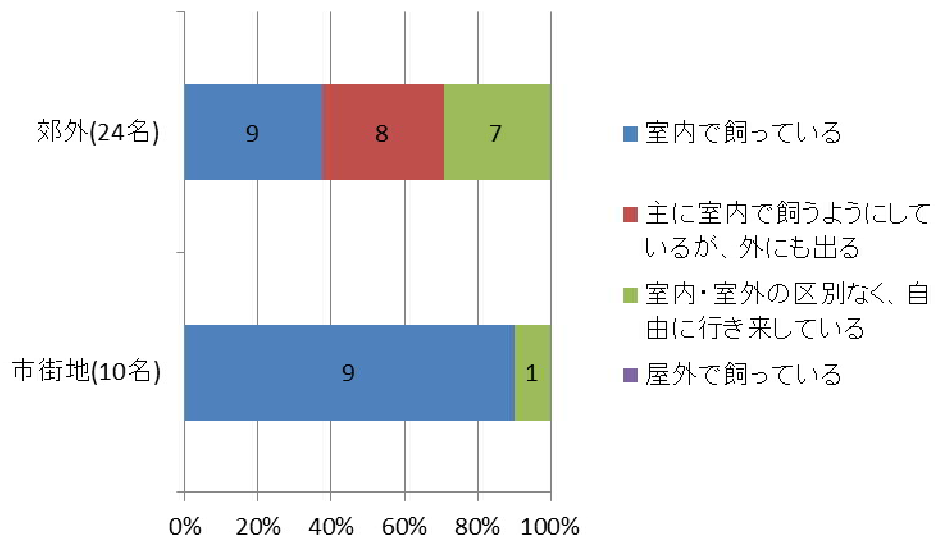
【全体】



【年代別クロス分析】



【周辺環境別クロス分析】

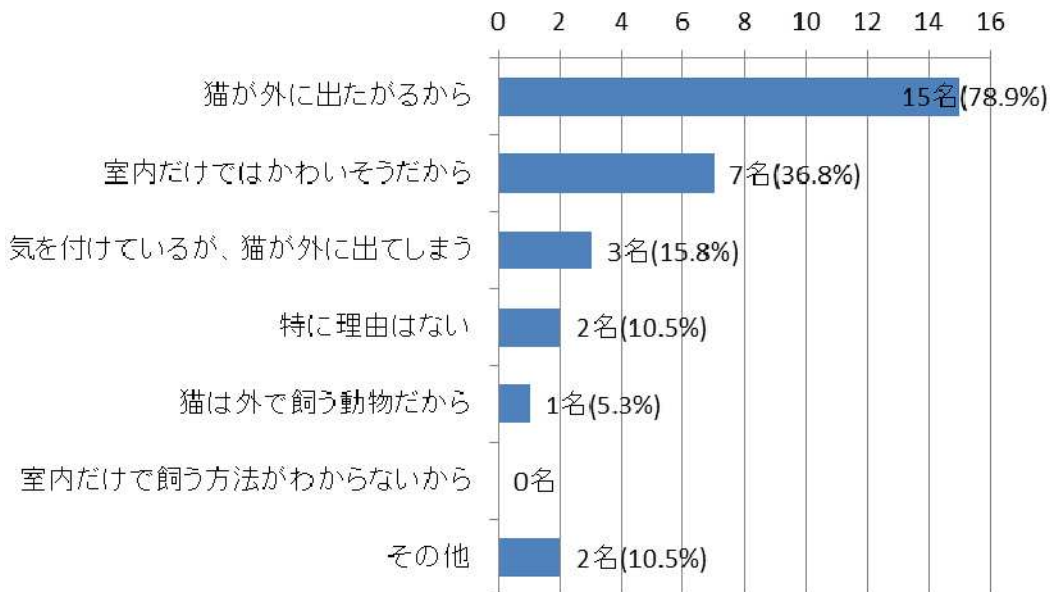


問20 問19で「イ 主に室内で飼うようにしているが、外にも出る」、「ウ 区別なく、自由に行き来している」、「エ 屋外で飼っている」を選択された方にお聞きします。猫を屋外へ出す理由は何ですか。

【調査結果】

・「猫に外に出たがるから」が 15 名 (78.9%) と最も高く、「室内だけではかわいそうだから」が 7 名 (36.8%)、「気を付けているが、猫が外に出てしまうから」が 3 名 (15.8%) の順であった。

【全体】

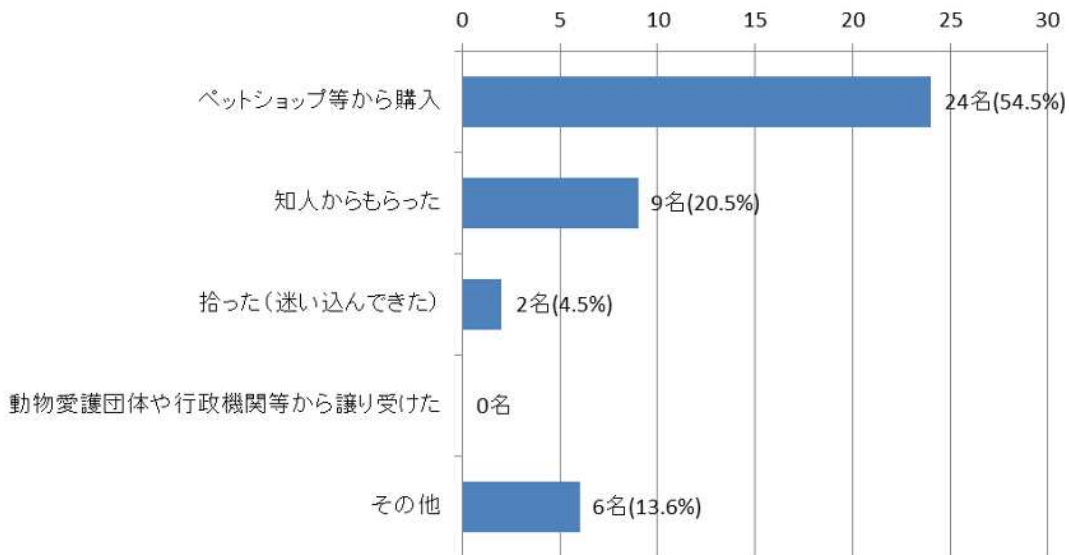


問2 1 どのようにして(犬猫以外の)ペットを入手しましたか。

【調査結果】

・「ペットショップ等から購入」が24名(54.5%)と最も高く、「知人からもらった」が9名(20.5%)、「拾った(迷い込んできた)」が2名(4.5%)の順であった。

【全体】

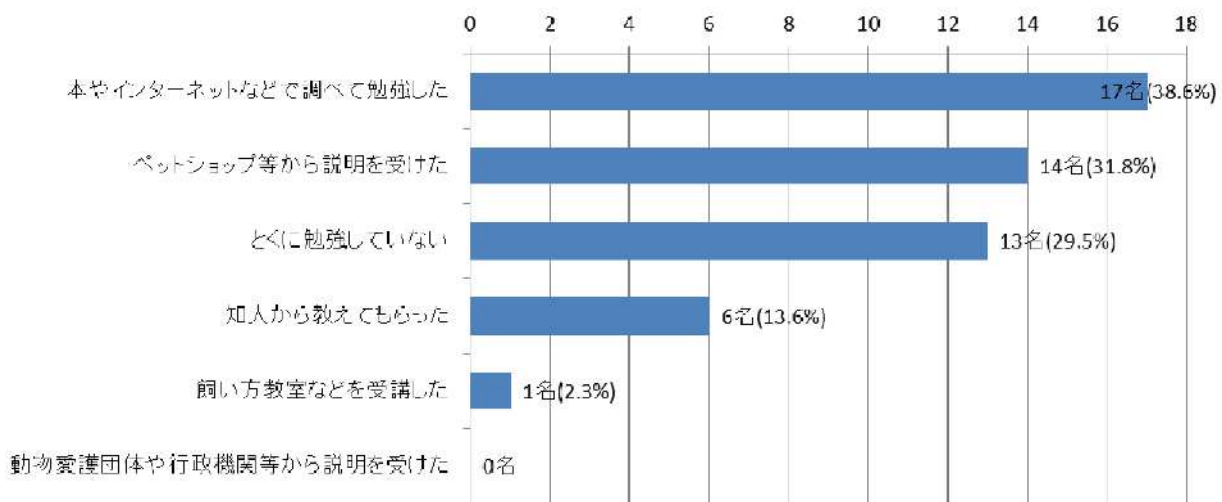


問2 2 ペットを飼う前に、その動物の特徴や性質、飼育方法をどのように知りましたか。

【調査結果】

・「とくに勉強していない」人は 13 名 (29.5%) であった。「本やインターネットなどで調べて勉強した」が 17 名 (38.6%) で最も高く、「ペットショップ等から説明を受けた」が 14 名 (31.8%)、「知人から教えてもらった」が 6 名 (13.6%) の順であった。

【全体】

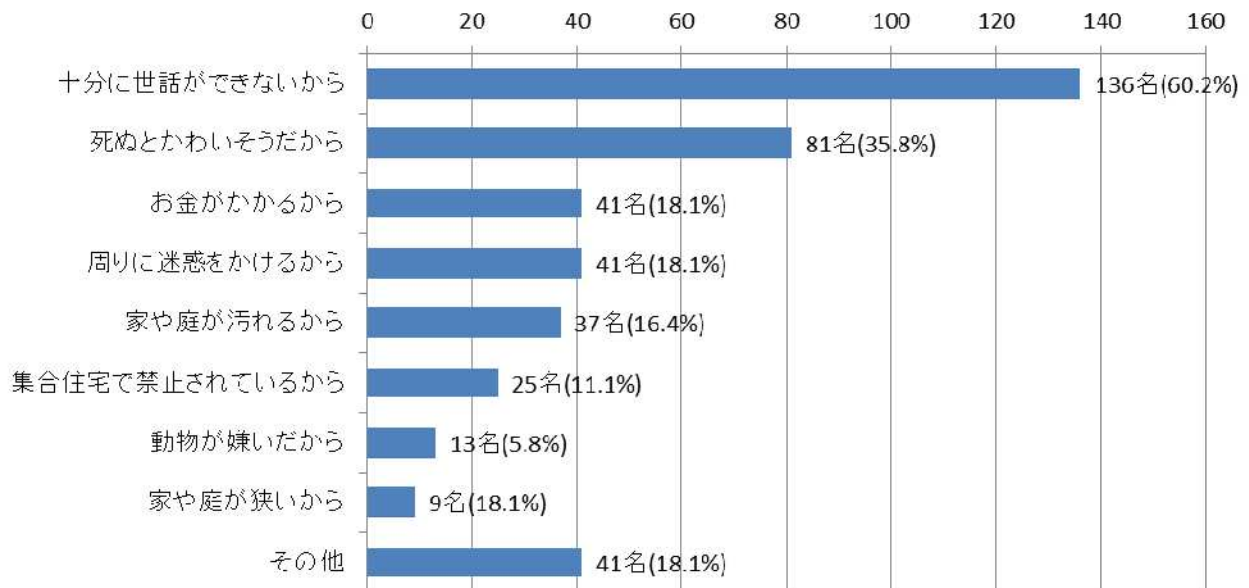


問23 問2で「イ 現在、ペットを飼っていない」を選択された方にお聞きします。
ペットを飼わない理由はなんですか。

【調査結果】

・「十分に世話ができないから」が 136 名(60.2%)で最も高く、続いて、「死ぬとかわいそうだから」が 81 名(35.8%)、「お金がかかるから」、「周りに迷惑をかけるから」及び「その他」が 41 名(18.1%)の順であった。

【全体】

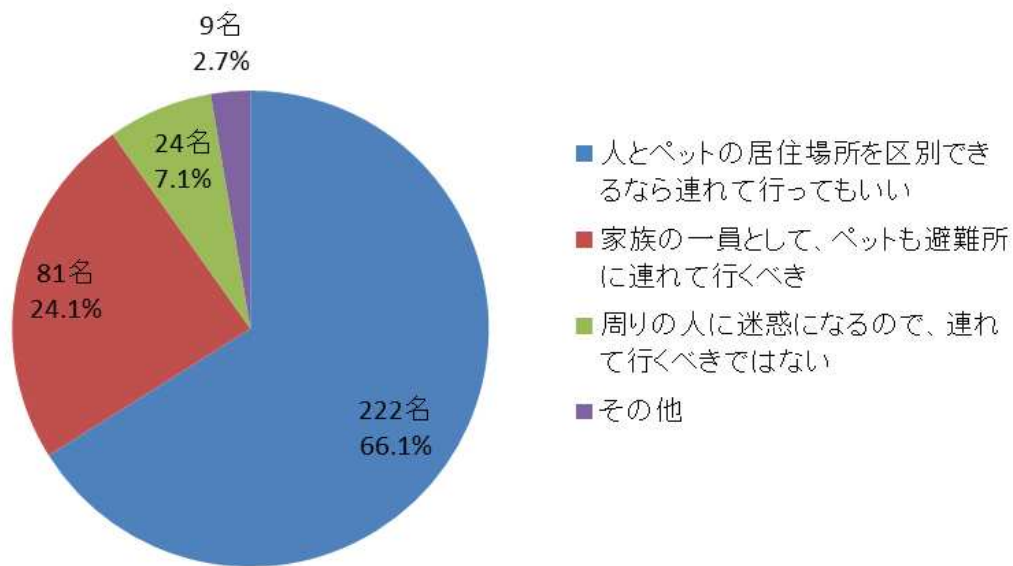


問24 被災して避難しなければならなくなったときに、避難所にペットも一緒に避難することについてどう思いますか。

【調査結果】

・「人とペットの居住場所を区別できるなら連れて行ってもいい」が 222 名(66.1%)で最も高く、「家族の一員として、ペットも避難所に連れて行くべき」が 81 名(24.1%)、「周りの人に迷惑になるので、連れて行くべきではない」が 24 名(7.1%)の順であった。

【全体】

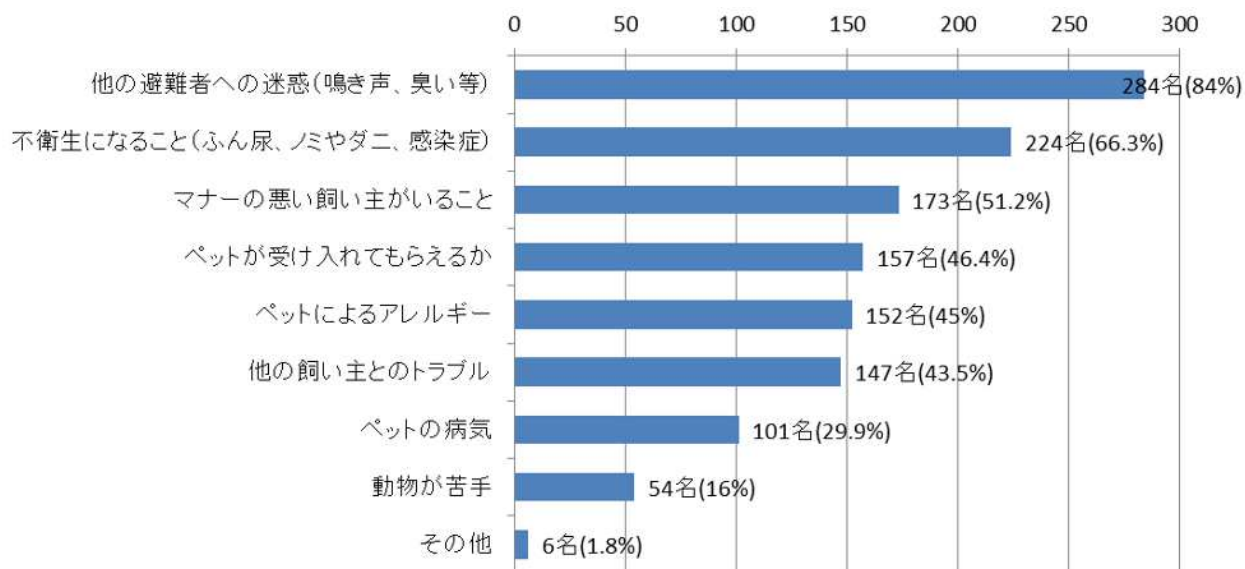


問25 避難所にペットと飼い主と一緒に避難することについて、心配だと思うことは何ですか。

【調査結果】

・「他の避難者への迷惑(鳴き声、臭い等)」が284名(84%)で最も高く、「不衛生になること(ふん尿、ノミやダニ、感染症)」が224名(66.3%)、「マナーの悪い飼い主がいること」が173名(51.2%)の順で続いた。

【全体】

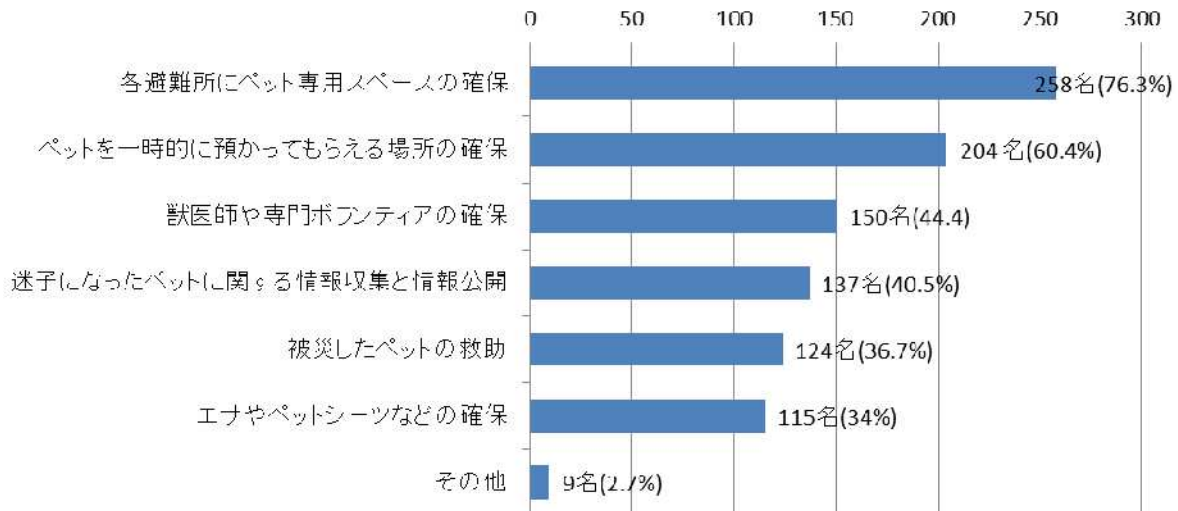


問26 災害時にペットに関係することで行政に望むものは何ですか。

【調査結果】

・「各避難所にペット専用スペースの確保」が258名(76.3%)が最も高く、「ペットを一時的に預かってもらえる場所」が204名(60.4%)、「獣医師や専門ボランティア(健康相談や飼育相談の窓口)の確保」が150名(44.4%)の順で続いた。

【全体】

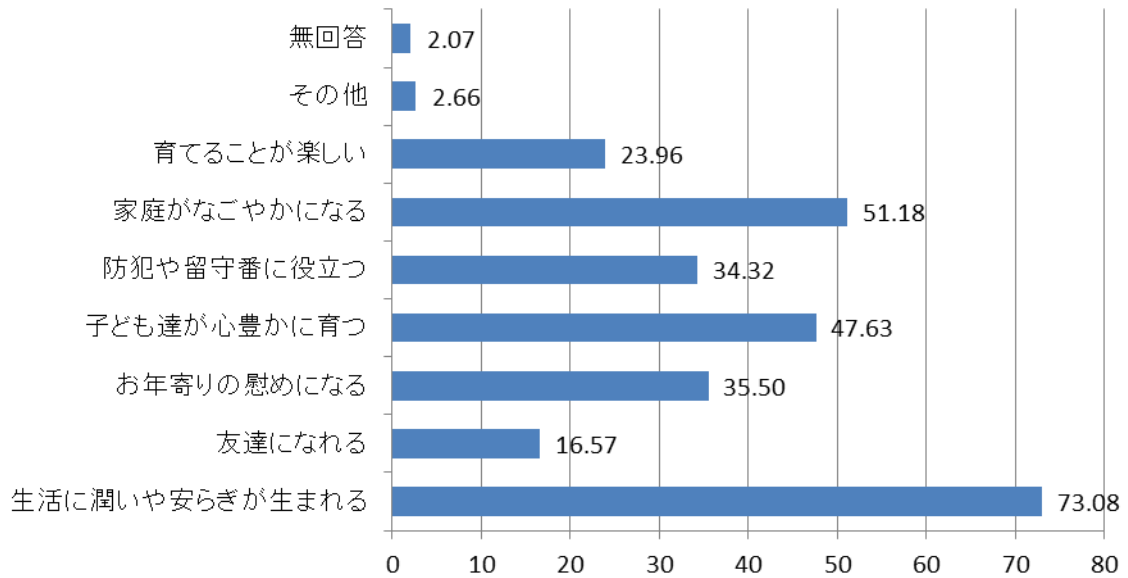


問27 ペットを飼うことについて、よい(メリット)と思うことはどのようなことですか。

【調査結果】

・「生活に潤いや安らぎが生まれる」が 247 名(73.08%)が最も高く、「家庭がなごやかになる」が 173 名(51.18%)、「子ども達が心豊かに育つ」が 161 名(47.63%)の順で高かった。

【全体】

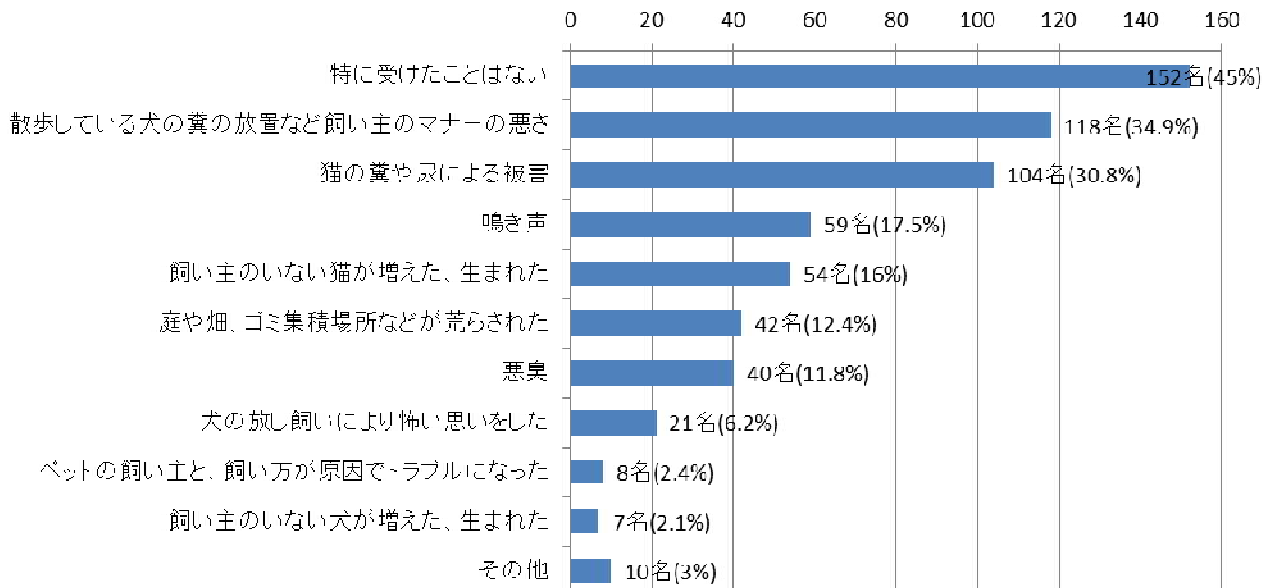


問28 ここ1、2年の間に犬や猫などの動物から被害を受けたり、不快な思いをしたことがありますか。

【調査結果】

・「特に受けたことはない」が152名(45%)であり、「散歩している犬の糞の放置など飼い主のマナーの悪さ」118名(34.9%)、「猫の糞や尿による被害」104名(30.8%)の順であった。

【全体】

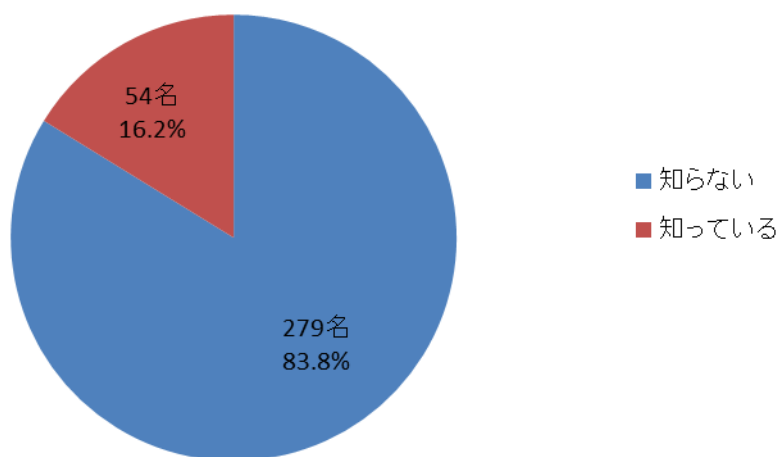


問29 「地域猫活動」を知っていますか。

【調査結果】

・「知っている」が54名(16.2%)、「知らない」が279名(83.8%)であった。

【全体】

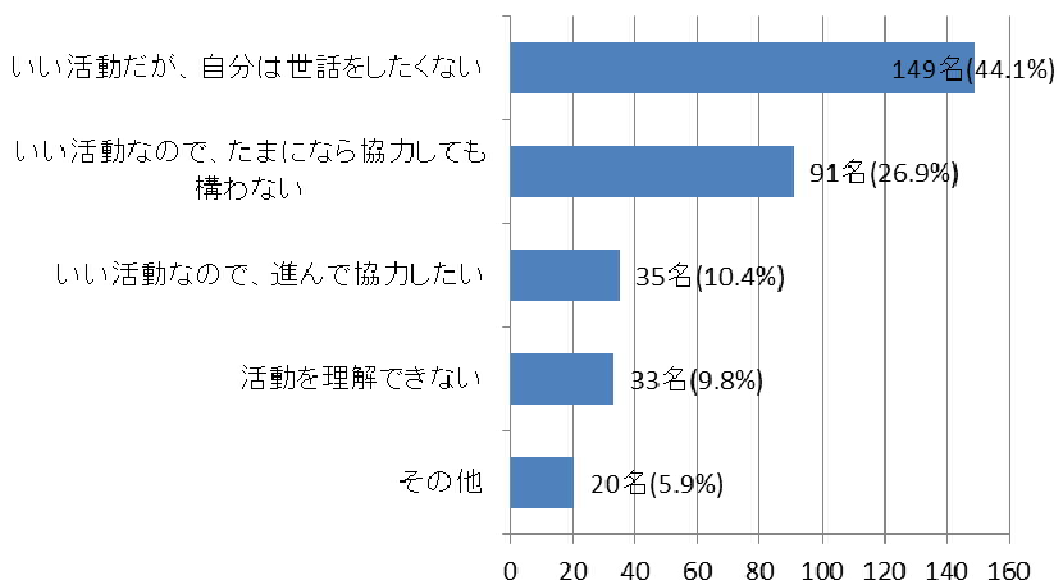


問30 地域猫活動とは、猫がこれ以上増えないように不妊去勢手術し、寿命を全うするまで地区の住民でエサ、トイレ等の管理をしながら、猫による環境への被害や苦情を減らしていく取り組みです。この活動について、どう思いますか。

【調査結果】

・「いい活動だが、自分は世話をしたくない」が149名(44.1%)で最も多く、「いい活動なので、たまになら協力しても構わない」が91名(26.9%)、「いい活動なので、進んで協力したい」が35名(10.4%)の順で高かった。

【全体】

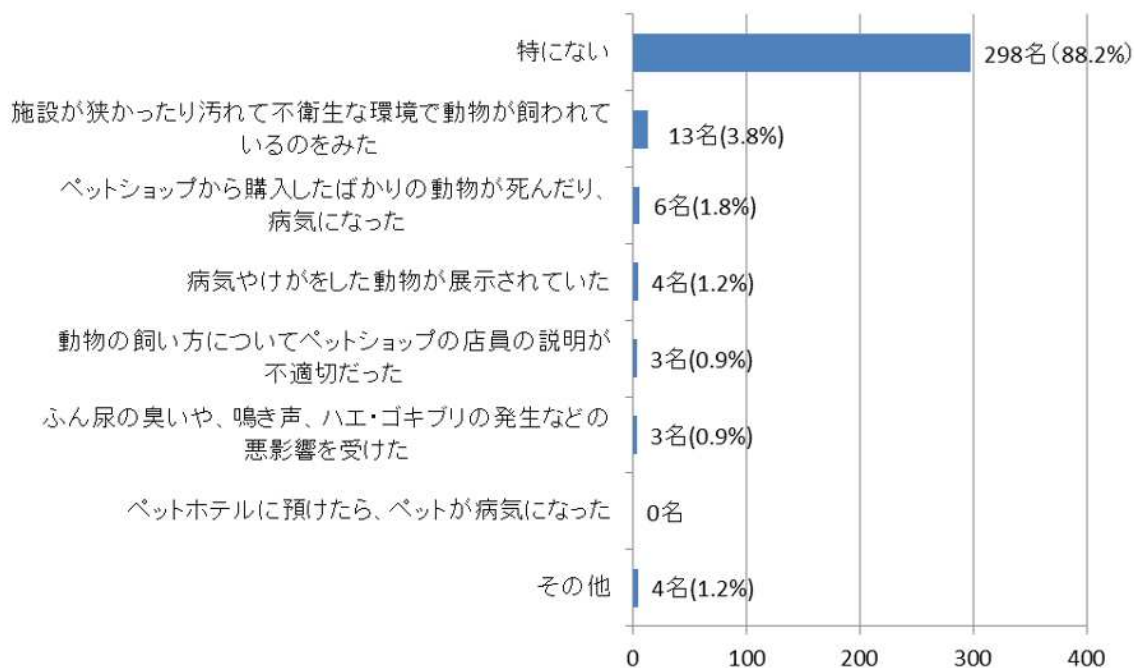


問3 1 ペットショップやペットホテル等の動物を取り扱う業者から、被害を受けたり、不快な思いをしたことがありましたか。

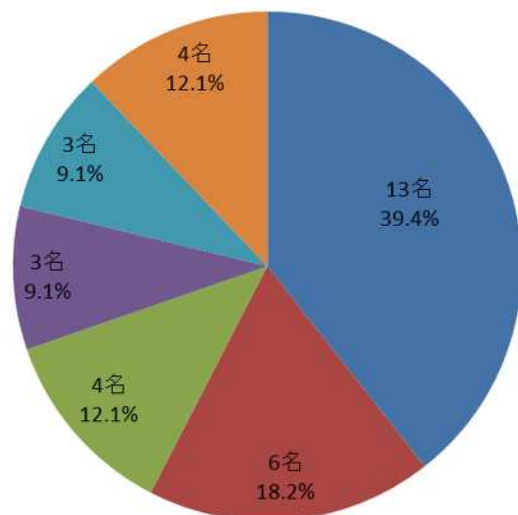
【調査結果】

・「特にない」が最も多く、298名(88.2%)であった。「施設が狭かったり汚れて不衛生な環境で動物が飼育されているのをみた」が13名(3.8%)、「ペットショップから購入したばかりの動物が死んだり、病気になったりした」が6名(1.8%)、「病気やけがをした動物が展示されていた」4名(1.2%)の順で高かった。

【全体】



【被害や不快な思いをしたことがある場合の分析】



- 施設が狭かったり汚れて不衛生な環境で動物が飼われているのを見た
- ペットショップから購入したばかりの動物が死んだり、病気になった
- 病気やけがをした動物が展示されていた
- ふん尿の臭いや、鳴き声、ハエ・ゴキブリの発生などの悪影響を受けた
- 動物の飼い方についてペットショップの店員の説明が不適切だった
- その他

- ペットホテルに預けたら、ペットが病気になった

問3 2 ペットの愛護や適正な飼育の推進のために、行政が取り組むべきことは何だと思えますか。

【調査結果】

・「迷惑な飼い主への指導強化」が 216 名(63.91%)、「犬・猫の不妊・去勢の促進、助成」が 156 名(46.15%)、「ペットの正しい飼い方の普及啓発」が 136 名(40.24%)の順で高かった。

【全体】

